

株主・投資家の皆様へ

第100期 報告書

2019年4月1日～2020年3月31日

- P1 株主・投資家の皆様へ
- P3 連結業績ハイライト
- P5 SDGs への貢献、Topics
- P7 企業情報

株主・投資家の皆様へ



独創力で、 “一步先行く提案”型企業へ

株主・投資家の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

ここに、第100期(2019年4月1日～2020年3月31日)における事業の概況と業績につきまして、ご報告申し上げます。

代表取締役社長 兼 C.E.O.

田中直人

◆第100期の業績について

当連結会計年度におけるわが国経済は、消費税率引き上げや、海外経済の低迷から製造業の企業収益が頭打ちとなるなど、消費・投資を巡る環境は悪化しており、先行き不透明感が強まっています。

世界経済では激しさを増す米中の主導権争いの影響や、東アジアや中東における地政学的緊張の高まり等から、貿易や製造業の活動が悪化しています。

さらには、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う経済活動の停滞が世界規模で進行しており、総需要の急減に加え、サプライチェーンや国際金融市場にも深刻な影響を与えています。

このような状況下、当連結会計年度の当社グループの売上高は前年同期比2.4%減収の515億64百万円、営業利益は同2.5%減益の78億48百万円、経常利益は同4.9%減益の80億22百万円と、前年を下回りましたが、親会社株主に帰属する当期純利益は同3.9%増益の56億10百万円と、前年を上回りました。

◆長期ビジョン「Challenge 1000」について

当社グループは新たなステージへの飛躍を目指し、2030年の実現を目指した長期ビジョン「Challenge 1000」を策定し、昨年5月に発表いたしました。2030年にありたい姿として、「独創力で、“一步先行く提案”型企業へ」を掲げ、独創的なアイデアで社会課題を解決し、世界の進歩をリードする企業となることを目指してまいります。

さらに、良き企業市民として、顧客、従業員、株主、そして

四国化成グループ長期ビジョン **Challenge 1000**

当社グループは、新たなステージへの飛躍を目指し、2030年を目標とする長期ビジョン「Challenge 1000」を策定いたしました。中期経営計画だけでは描き切れなかった長期的な視点から、目指す姿を設定し、飛躍的な成長を実現していきます。

企業理念



私たちは常に独創性を重んじ、これを会社発展の原動力とする。

- ・「独創力」は、未来永劫掲げていく四国化成グループの理念
- ・二硫化炭素の革新的な製法の発明に始まり、その後も節々で独創性の発揮を成長の礎、発展の力としてきた
- ・一人ひとりの持つ知恵を結集し、思いもよらない発想で常に新たな道を切り拓いてゆく

2030年に
ありたい姿

独創力で、“一步先行く提案”型企業へ

独創的なアイデアで社会課題を解決し、世界の進歩をリードする

社会に貢献していくこととした「四方よし」を企業の活動方針としています。お客様には「一步先の価値」を、従業員には「挑戦と成長」を、株主の皆様にはより一層の「利益還元」を、そして、社会には「より良い明日」を届けることにより、ステークホルダーの皆様にご貢献してまいります。

「Challenge 1000」では、長期的視点に立った成長戦略の実行による飛躍的な成長を目指し、2030年に達成すべき財務目標として、売上高1,000億円、営業利益150億円、ROE(株主資本利益率)10%以上の達成を掲げ、目標の達成に向けて全社一丸となって取り組んでおります。

この目標を着実に達成するため、2030年までの10年間の「STAGE 1」、「STAGE 2」、「STAGE 3」の3つのステージに分け、各ステージのマイルストーンを定め、実行してまいります。「STAGE 1」は、2023年3月期までの3カ年計画で、本年4月にスタートを切りました。「STAGE 1」においては、事業変革方針として、これまでの「お客様のご要望起点」のスタイルから、「四国化成からの提案起点」のスタイルへの変革を掲げ、各事業が持つ強みをさらに高め、世界中のお客様や社会の課題解決のために、いかに先回りした行動ができるのかを追求し、実行してまいります。

また、「Challenge 1000」ではレスポンシブル・ケアによる環境保全活動に加え、さらなる社会課題の解決のため国連で採択された持続可能な開発目標(SDGs)の達成に貢献してまいります。当社の主要な事業の中には、すでにSDGsと深い関わりがあるものが数多くあります。当社グループは様々な事業を通して“一步先行く提案”を行うことで、これからも、社会の一員としての役割を果たし、持続的な成長を目指した経営を進めてまいります。

なお、当社は、上記の「四方よし」の考え方に沿って、社会貢献や地域貢献に経常利益の1%を支出することとし、これからもこのような活動に力を入れてまいります。

◆ 株主還元の基本方針について

グループ役職員の一人ひとりが、企業理念を体現することにより、価値ある製品とサービスの提供を通じて、株主・投資家の皆様をはじめとするすべてのステークホルダーにご貢献してまいります。

また、当社グループは株主還元の基本方針として、2030年に至る長期ビジョン「Challenge 1000」の期間中において「連結業績を基準として、配当性向30%、総還元性向50%」を目指します。株主の皆様に対するより一層の利益還元を重点をおいた経営を行うことにより、当社グループの活動方針である「四方よし」を実現してまいります。2019年度の期末配当金につきましては、この基本方針や業績、財務状況等に鑑み、前期末比1円増配の、1株につき12円とさせていただきます。

株主・投資家の皆様には、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2020年6月

四方よし

顧客

一步先の価値を

ユニークで最先端の製品・サービスで、新たな価値を提供する

従業員

挑戦と成長を

多様な働き方と挑戦による成長実感で豊かな人生を応援する

株主

利益還元

配当性向 30%
総還元性向 50%

社会

より良い明日を

社会課題の解決に貢献し、豊かな生活環境を実現する

財務目標 (2030年3月期・連結)

売上高 1,000億円

営業利益 150億円

ROE 10%以上

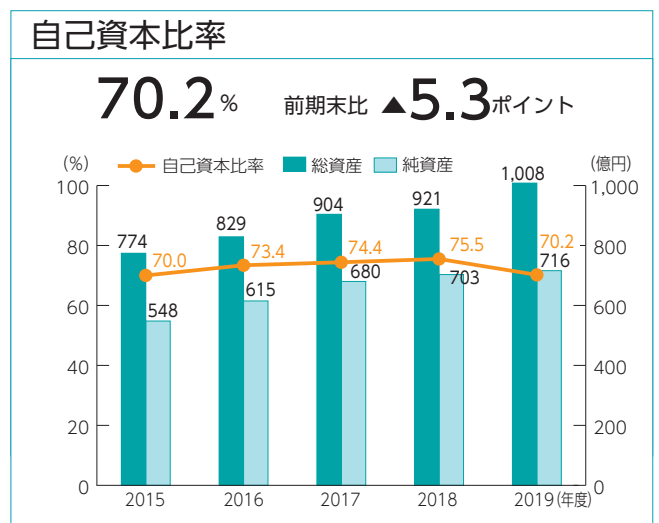
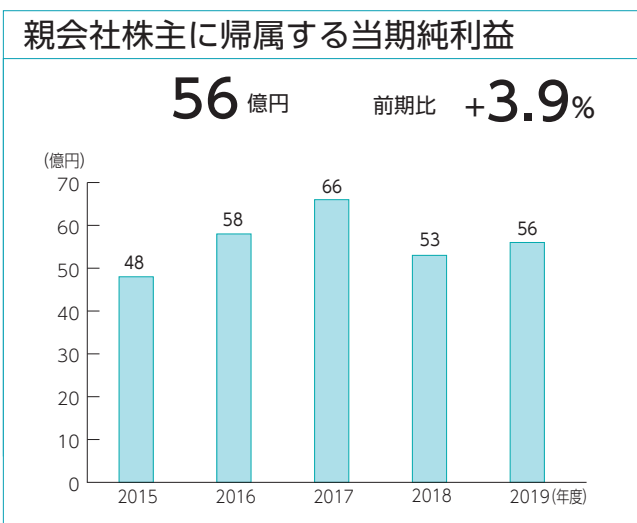
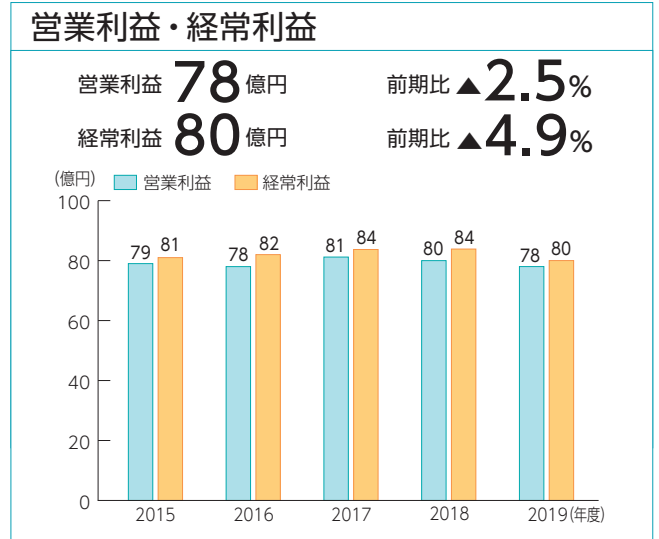
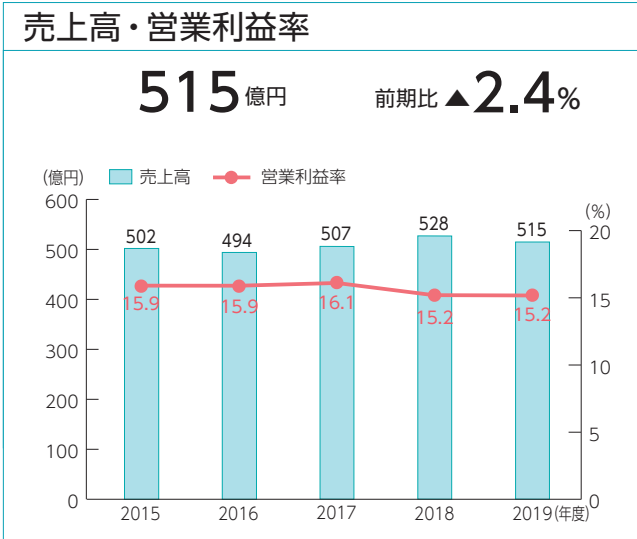
SDGsへの貢献

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

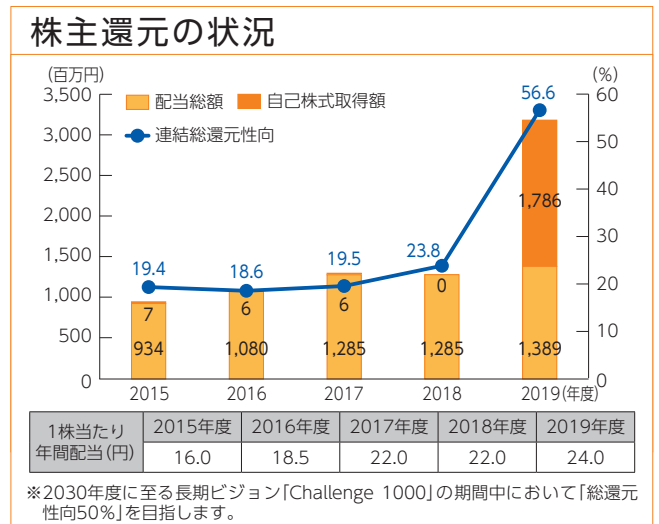
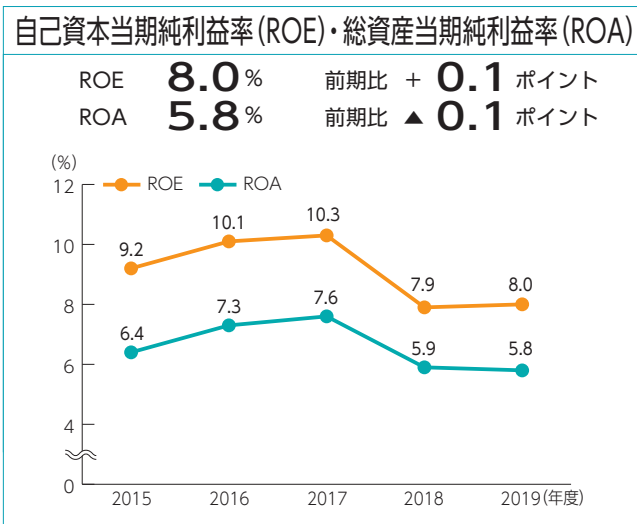
業績のポイント

- 売上高は3期ぶりの減収ながらも親会社株主に帰属する当期純利益は増益
- 年間配当は前期から2.0円増額し、1株当たり24.0円

※グラフ中の金額は、億円未満を切り捨てて記載しております。



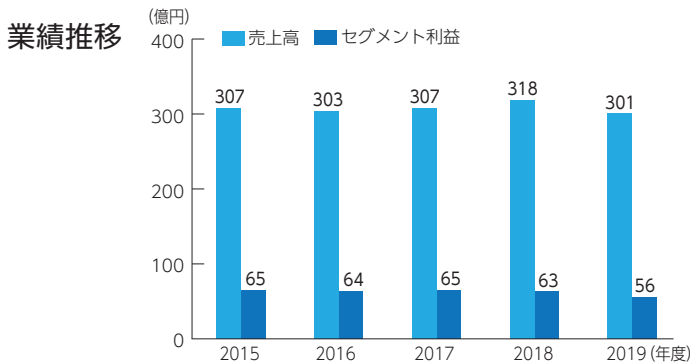
(注) 2018年度(第99期)より「[税効果会計に係る会計基準]の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を適用しており、過年度については遡及適用後の値を記載しております。



セグメント別事業概況

化学品事業

売上高 **301億50** 百万円
セグメント利益 **56億56** 百万円



不溶性硫黄は、国内市場は堅調であったものの、海外市場が低迷し低調に推移しました。シアヌル酸誘導品は、国内、米国市場ともに需要は底堅く推移しているものの、前期好調の反動で前年を下回りました。ファインケミカルでは、タフエースを主力とする電子化学材料は全般に米中貿易摩擦や新型コロナウイルスの感染拡大による電子部品関連の市況悪化の影響を受け、低調に推移しました。イミダゾール類を中心とする機能材料は、海外市場は市況悪化の影響を受けましたが、国内市場では新規開発品が拡大し、横ばいで推移しました。

この結果、化学品事業の売上高は301億50百万円 前年同期比5.4%の減収、セグメント利益は56億56百万円 前年同期比10.8%の減益となり、いずれも前年を下回りました。

主要製品



無機化成品

- 不溶性硫黄 (ゴム加硫剤)
- 二硫化炭素 (化学繊維レーヨンの原料)
- 無水芒硝 (入浴剤の温浴効果促進剤、合成洗剤の洗浄助剤)



有機化成品

- シアヌル酸誘導品 (プール・浄化槽の殺菌・消毒剤、船舶バラスト水の塩素処理剤)



ファインケミカル

- 電子化学材料 (プリント配線板向け耐熱型水性防錆剤)
- 機能材料 (エポキシ樹脂の硬化剤、樹脂改質剤)

化学品事業 58.5%

売上高
構成比

無機化成品 23.1%

有機化成品 19.7%

ファインケミカル 15.7%

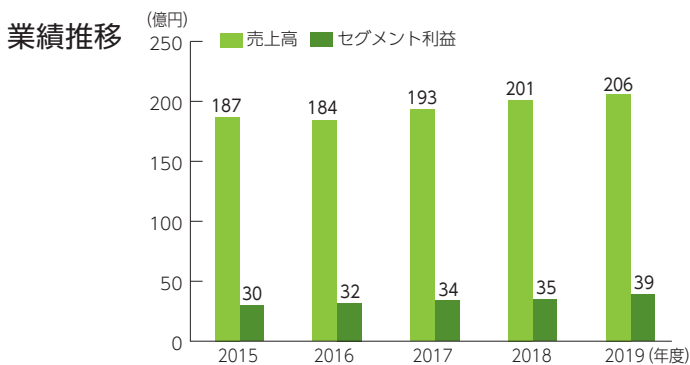
エクステリア 36.8%

壁材 3.2%
その他 1.5%

建材事業 40.0%

建材事業

売上高 **206億19** 百万円
セグメント利益 **39億66** 百万円



壁材は、住宅着工戸数減少の影響を受け低調に推移しましたが、エクステリアは、前期下期より続く災害復旧需要や危険な塀関連需要などを背景に販売が好調に推移しました。

この結果、建材事業の売上高は206億19百万円 前年同期比2.5%の増収、セグメント利益は39億66百万円 前年同期比12.5%の増益となり、いずれも前年を上回りました。

主要製品



エクステリア

- 住宅エクステリア (門扉、フェンス、カーポート、アコーディオン門扉、テラス、アルミシステム塀)
- 景観エクステリア (大型門扉、大型フェンス、通路用シェルター、自転車置場、ゴミ集積庫、屋上緑化等)



壁材

- 内装材、外装材、舗装材

SDGsへの貢献

四国化成グループ 長期ビジョン「Challenge 1000」では、レスポンシブル・ケアによる環境保全活動に加え、さらなる社会課題の解決のため、国連で採択された持続可能な開発目標 (SDGs) の達成に貢献することを表明しております。当社の主要な事業の中には、すでにSDGsと深い関わりがあるものが数多くあります。

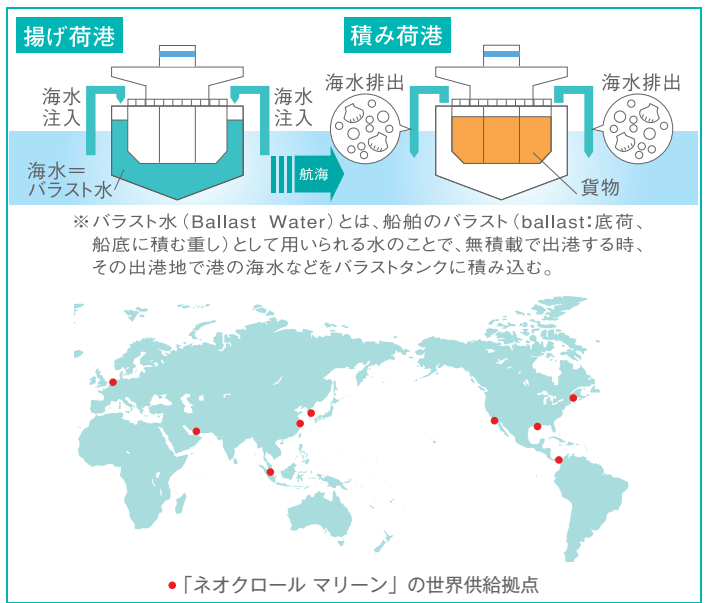
例えば、当社の祖業である二硫化炭素は硫黄とメタンガスを原料として生産されています。どちらの原料も原油からガソリンなどを精製する際に生み出される副生物であり、元来は産業廃棄物として処理されるものです。当社はそうしたものに独自の技術で新しい付加価値を加え、世の中に役立つ製品として販売することにより、地球環境の保全に貢献しています。当社グループは様々な事業を通して、これからも、持続的な成長を目指すために、このSDGsを意識した経営を進めてまいります。

有機化成品事業



有機化成品事業は、殺菌・洗浄・漂白技術で、世界中の人々に安心な衛生環境を提供し、海洋環境の維持に携わっています。

バラスト水が生態系に悪影響を与えることから、2017年に「バラスト水管理条約」が発効し、これに伴い2024年9月までに外洋を航海する船舶へのバラスト水処理装置の設置が義務付けられました。当社では、バラスト水処理装置の専用薬剤である「ネオクロール マリーン」の供給拠点を世界中の港に配備するなど、世界中の海の生態系の保護に貢献しています。



四国化成グループ長期ビジョン Challenge 1000

SDGsの達成へ向けて

四国化成グループは、2015年9月に国連サミットで採択された2030年までに達成すべき17の目標である「持続可能な開発目標 (SDGs)」の達成を重要課題と認識しています。事業活動を通じSDGsの達成に向け貢献していきます。



主要な事業とかかわりの深いSDGs

顧客 一歩先の価値を



- 技術革新の基盤形成に貢献する
- スマート社会実現に向け、未来のICT技術で必要な素材やプロセスを提供する

社会 より良い明日を



- 殺菌・洗浄・漂白技術で、世界中の人々に安心な衛生環境を提供し、海洋環境の維持に携わる
- 未来のくらしをデザインし、世界中の人々が安心・安全に暮らせる街を創造する

事業活動の基盤となるSDGs

従業員 挑戦と成長を



- 挑戦を重視する評価制度や人材育成体系を見直し、成長実感のある職場づくりを目指す
- 多様な働き方に合わせ、誰もが活躍できる組織体制の整備や制度導入を推進する

レスポンシブル・ケア基本方針



地球環境の保護に配慮し、自然との調和を第一に考える、心豊かな社会に貢献する企業市民を目指す

建材事業



建材事業では、未来の暮らしをデザインし、世界中の人々が安心・安全に暮らせる街を創造していきます。

構造が軽量のアルミである「アートウォール」は、十分な美観を備えながらも、重量はコンクリートブロック塀の約20分の1という特長をもち、万が一の倒壊時にも危険を最小限に抑えることができます。安全性と施工性、意匠性に優れた製品として、安心・安全に暮らせる街づくりに貢献しています。



ファインケミカル事業



ファインケミカル事業は、技術革新の基盤形成に貢献し、スマート社会の実現に向け、未来のICT技術に必要な素材やプロセスを提供しています。

ICTの発展に伴い、さらなる高機能化が求められている最先端の電気・電子材料分野では、その性能の向上に貢献するため厳格な低金属管理が求められる「最先端半導体プロセス材料」や、膨大なデータを高速で伝送する5Gに欠かせない技術である電子化学材料[GliCAP]などで、IoT時代の通信システムに貢献しています。



半導体ウェハー



自動車の自動運転(イメージ)

密着性向上プロセス GliCAP® 次世代の情報通信機器などで活躍が期待。

■GliCAP処理

銅回路表面は平滑なまま、分子間の結合で化学的に密着性向上。



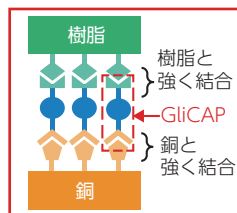
GliCAP処理断面図

■粗化处理(従来手法)

銅回路表面の凹凸形状によるアンカー効果で、物理的に密着性向上。



粗化处理(従来手法)断面図



GliCAP処理断面拡大図

銅回路表面が平滑で電気信号の損失が少ないので、5G(第5世代移動通信システム)の大容量データを高速処理することができます。

Topics 「ネオクロールスティック」の販路を拡大

新型コロナウイルス感染症拡大で消毒用アルコールの不足が続く中、「ネオクロールスティック」はお客様から注目をいただき、このたび当社ホームページからのネット販売を開始いたしました。

プール用殺菌消毒剤に使用されるジクロロイソシアヌル酸ナトリウムを主原料とする「ネオクロールスティック」は、2014年にノロウイルス感染症の流行を機に販売を開始。これまで老健施設や病院などを主なマーケットに、ドアノブや手すり、便座などの拭き取り除菌や、食器・衣類の除菌・洗浄など、衛生管理用品としてご使用いただけてきました。1包1.6g包装の便利な使い切りタイプで、液体塩素(次亜塩素酸ナトリウム)に比べ、簡単に目的の有効塩素濃度を持つ次亜塩素酸の水溶液を素早くつくることができます。

様々な販路を通じて「ネオクロールスティック」をお届けし、

皆様の安全・安心な生活環境を整えるツールの一つとしてお役に立てるよう努めてまいります。



特設サイトは
コチラ



企業情報 (2020年3月31日現在)

◆ 会社概要

会社設立	1947年(昭和22年)10月10日
本社所在地	香川県丸亀市土器町東八丁目537番地1
上場証券取引所	東京証券取引所 第一部
資本金	68億6,770万円
グループ従業員数	1,206名

◆ 役員 (2020年6月25日現在)

代表取締役社長 兼 C.E.O.	田中直人
取締役 専務執行役員	吉岡隆
取締役 常務執行役員	松原純
取締役 常務執行役員	渡邊充範
取締役 執行役員	濱崎誠
取締役 執行役員	眞鍋宣訓
取締役 執行役員	遠所裕
取締役 (社外取締役)	渋谷博
取締役 (社外取締役)	寺田俊文
取締役 (社外取締役)	原田秀逸
常勤監査役	古川和彦
常勤監査役	田邊賢次
監査役 (社外監査役)	西原孝治
監査役 (社外監査役)	籠池信宏
執行役員	岸孝昭
執行役員	井出浩孝
執行役員	平尾浩彦
執行役員	片山和彦

◆ 株主メモ

- 事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 毎年6月
- 基準日 定時株主総会 3月31日
剰余金の配当 期末配当 3月31日
中間配当 9月30日
このほか必要ある場合は、あらかじめ公告して臨時に基準日を定めます。
- 公告方法
当社のホームページに電子公告として掲載いたします。
<https://www.shikoku.co.jp>
但し、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

◆ 株式の状況

発行可能株式総数	235,850,000株
発行済株式総数	58,948,063株※
株主数	4,307名

※2020年6月10日に保有する自己株式のうち3,070,800株を消却しました。その結果、同日現在の発行済株式総数は55,877,263株となっております。

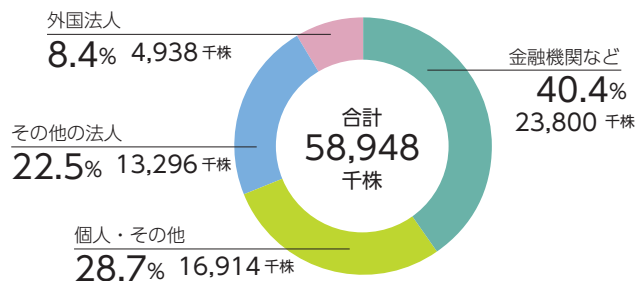
◆ 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日清紡ホールディングス株式会社	5,580	9.76
シコク共栄会	4,411	7.71
日本生命保険相互会社	3,295	5.76
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,779	4.86
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(退職給付信託口・株式会社百十四銀行口)	2,640	4.62
株式会社香川銀行	2,500	4.37
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,245	3.93
株式会社四国銀行	1,750	3.06
株式会社伊予銀行	1,500	2.62
株式会社中国銀行	1,500	2.62

(注)●持株比率は自己株式を控除して計算しております。

- 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(退職給付信託口・株式会社百十四銀行口)の持株数には、株式会社百十四銀行が自己名義で保有している300千株を含めて記載しております。

◆ 所有者別株式分布状況



◆ 株主優待制度について

期末現在における1,000株以上保有の株主様を対象に、地域の特産品(3,000円相当)を贈呈いたします。2020年6月には、地元香川の特産品である讃岐うどんをお届けいたしました。



〒763-8504 香川県丸亀市土器町東八丁目537番地1 TEL:0877-22-4111
URL <https://www.shikoku.co.jp>

